

<紹介> 島根県スポーツ吹矢協会:松江清心養護学校との交流事業

- 1 日時 平成28年12月16日(金)13:00~14:30
- 2 会場 松江清心養護学校体育館
- 3 参加者 ・島根県スポーツ吹矢協会松江支部・出雲ご縁支部20名
・松江清心養護学校20名(児童生徒10名・教職員10名) 計40名
- 4 内容 スポーツ吹矢交流大会(中等部3名は大会、他の児童生徒は体験参加)
※当日までに事前練習会を2回実施(生徒3名及び担任3名)

- ・生徒の実態を把握するために、スタッフと教職員による打合せを綿密に行っている。
- ・生徒1人1人の障がいの特性、程度に応じた場の工夫、補助具の工夫がなされている。



生徒 → スポーツ吹矢の面白さを体感 真剣かつ生き生きとした表情
協会スタッフ → 生徒1人1人に応じた指導・支援

事前練習会



筒を持ってない生徒に対して → 三脚とコマを活用した筒のせ台、グリップの製作

スポーツ吹矢交流大会



競技スタート



他の児童・生徒も体験



参加者みんなで記念撮影

松江清心養護学校との交流を通じて、障がいの有無に関わらず、誰もが楽しめるスポーツ吹矢の普及に努めていきたいと思っております。今後は、協会では障がい者サポート指導者を養成していきます。

スポーツ吹矢協会 会長より

スポーツ吹矢をやっている子どもたちの楽しくかつ真剣な表情を見ていて、貴重な機会を提供していただいた協会に感謝したいです。この取組を研究会等で紹介していきます。(H29.7.28予定)

清心養護学校 校長先生より

健常者と障がい者のスポーツを通じた交流のみならず、特別支援学校の体育の充実といった面でも今回の交流事業はモデルケースになります。特別支援教育課や障害者スポーツ協会等にも情報発信し、こうした取組を広く普及啓発していこうと思っております。